

世界規模の統合NWサービス構築への応用に期待

KDDI 研など 7 者

SDN を活用して通信フローを動的生成する

相互接続実験に成功

複数のネットワークドメインからなる全国規模の光トランスポートネットワークを構築して実施

ネットワークドメインからなる全国規模の光トラシス・ポートネットワークを構築し、SDN技術を用いて、これらネットワークドメインをまたがるシームレスな通信フローを動的に生成する相互接続実験に成功したと発表した。同技術は、ネットワークサービスとクラウド上の様々なサービスを融合した将来の世界規模の統合ネットワークサービス構築への応用が期待できるとしている。

あるいは地域単位で構成されるネットワークは、通信事業者が地域事情に合わせ、異なるアーキテクチャ、およびテクノロジで構成している。これら複数のネットワークを一元的に集中制御する上でネットワークをまたがった通信サービスを迅速に開通・提供することが可能となるが、膨大な処理・すべてのテクノロジに対する依存性を考慮しなければならないなど、実現は困難とされていた。

今回の成果と公開デモシステムの内容では、全国に構築した異なるテクノロジのトランスポートネットワークを、新世代通信網テストフレーム「JGN-X」等を用いて接続した大規模ワードメインに配備し

連携制御することで、複数のトランスポートネットワークドメインをまたがる通信フローを設定する相互接続実験に成功した。

国際会議「iPOP2015」の公開デモンストレーションでは、NTT、一般社団法人沖縄オープンラボアトリ（OOL）及び広域ネットワーカーへのSDN適用を目指す研究開発「O3プロジェクト」と協力して、東3拠点（小金井、武蔵野、大手町）及び沖縄拠点（iPOP2015会場）に構築したトランスポートネットワーカードメインと、国内広域に展開されているRISEネットにはインターネット経由で米国拠点（ISOCO RE）の計7拠点を接続

2015会場を接続する複数の通信フローを設定できるのを見せた。NICT小金井を拠点とするトランスポортドメインは、SDN／OpenFlowベースの制御装置により制御されるマルチドメイン／マルチテクノロジのトランスポートネットワークとし、100ギガビット級DWDMトランスポートシステム(三菱電機提供)と、100ギガビット級光パケット・光バス統合ネットワークシステム(NICT提供)で構築される大容量メトロコア光ネットワークと、エラステティック性を有する次世代光アグリゲーションネットワークのプロトタイプ機器(慶應大提供)、広域ネットワークに対応する高速パケット転送を行なう仮想ノード(富士通提供)で構築された光ア

組メモリー」は、教養・家庭、エンターテインメント、ニュースなどの分野で話題になった番組を取り上げ、出演者や制作スタッフが当時のエピソードや裏話を語り合つてクショ。今回は、1967年10月2日(日)番組スタートから48年の歴史を誇るニッポン

井正博氏ら4名。深夜放送アームを牽引した同番組からは多くのフオーライブや放送禁止歌が生まれた。懐かしい話とともに、ラジオの魅力を改めてアピールする場になれば。

社提供番組での放送が
オールナイト「ツボン」
振り返るトーキーショー
ほんとだつたが、4月1日から複数社提供
枠でのトライアル放送
がスタートし、パソニックのほか、数社が
さっそく取り組みを始めていた。字幕付きCMは2010年からト
成。
また、iPOP2011
5会場には、各トランスポートネットワークドメインを制御するSDN/
OpenFlowベースの制御装置と、次世代光
アグリゲーションプロトコルドメインと接続された
タイプ機器(慶應大提供)
が配備され、関東各拠点に構築したトランスポー
ト広域のトランスポートネットワークドメインを構
成した。

したトランスポートネットワークを用意し、iPOP2015会場に設置したSDN/OpenFlowベースの制御装置からの遠隔制御により、関東の各拠点とiPOP

◎・神奈川県横浜市での放送ライブリレーでは、6月13日、公開セミナー「人気番組メモリー・オールナイトニッポン」を開催する。「人気番組

放送の「オールナイトニッポン」。ゲストは放送開始時、パーソナリティを務めていた斎藤安弘をはじめ、シンガーソングライターのイルカ、元ニッポン

○・4月16日、テレビ東京で放送された経済番組「カンブリア宮殿」内のCMで、パナソニックのCMに字幕がついていた。字幕付

記者席

ノミ番組「ハナナイト」が
の70年代を振り返るトークショー